

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	toiro		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 1日		R8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	R8年 2月 8日		R8年 2月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	清潔で心地よく過ごせる環境設定ができています。	毎日清掃を行っており、きれいな状態を保つ意識を職員全員が持って過ごしている。	清潔な環境を保てるよう日々の清掃をより丁寧に行う。
2	職員間での情報の共有ができたうえでの支援を行っている。	小さな出来事や気づきも全体へ周知し、連携を取っている。	ひとりひとりの見る力を強化できるよう、日々目標に設定し振り返りを行う。
3	活動プログラムが固定化されないようにしている。	同じ活動が続かないよう職員で意見を出して様々な活動の提供を行っている。	子どもたちにもどんな事がしたいか意見を聞く等行い、楽しんで取り組めるよう行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の少なさ。	立地が子育て世代が少ないことが原因。	外出支援を行い交流の機会を作っていく
2	父母会などの開催。	多忙や家族上の理由等で参加できない保護者がいるため。	参加していただきやすいイベント等を職員間でも話し合い設定する
3			